

(別紙5)

整理番号 2024P-174
補助事業名 2024年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人新潟県保健衛生センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

新潟県は寒冷地であるため塩分を過剰摂取している傾向があり、全国と比較すると胃がんによる死亡率が高い。県では「健康立県」と題し、全国トップクラスの健康寿命の実現を目指している。その目標としてがん予防・がん検診の充実を掲げている。当財団が担っている地域住民検診において胃がん検診車を用いて山間部を隈なく巡回し、受診率の向上とがん早期発見に努め、目標達成に大きく貢献する。

(2) 実施内容

胃部X線デジタル検診車

<https://www.nhsc.or.jp/news/2700/>

競輪とオートレースの補助事業完了のご報告

この度、競輪及びオートレースを統括する公益財団法人JKAの令和5年度補助事業整備補助事業により令和7年3月28日、胃部X線検診車を導入いたしました。

1. 事業名 検診車の整備
2. 事業内容 胃部X線検診車の新規整備
3. 補助金額 27,000,000円
4. 実施場所 公益財団法人 新潟県保健衛生センター
5. 完了年月日 令和7年3月28日

検診車には、画像等・画像質・検査の美観を嗣った撮影装置を採用し、胃がん検診の受診時における負担の軽減を担った仕様となっております。

また、検診車の車体をシフトボディとし、子供な検診会場でも美観でさるよう考慮いたしました。

この最新の胃がん検診車を活用し、更なる胃がんの早期発見を担い、県民の健康を維持してまいります。

1. 検診車出入口

安全に出入りできるよう両側に手すりを設け、階段の段差も構造上出来る一番低い幅とした。



(別紙5)

2. 更衣室

プライバシーを守るため、カーテンで個室を作り、自分の入った場所がわかるようすべての更衣室のカーテンの色を変えている。



3. 受診者監視モニター

受診者の情報を把握するため問診票がよく見えるよう設定し、また撮影中の受診者の動きが死角なく見えるようカメラの位置も熟考した。(4の写真参照)

4. FPD方式の採用

従来のI・I方式に比べ、より精細な画像が得られる。



2 予想される事業実施効果

FPD方式の撮影装置導入により、より精細な粘膜画像を得ることができ、早期の段階でがんが発見される割合が高くなると予想される。また早期発見により罹患者の健康寿命の延伸が可能となり、治療による医療費の削減も見込まれる。

さらに当財団が保有している胃がん検診車に比べるとショートボディで作成したため、狭い会場にも配車が可能であり、効率よく検診を実施できる。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

1. 当財団施設にポスターを掲示する他、健診実施市町村にポスターを持参し、競輪補助事業であることを広報した。



2. 受診者に配布しているがん検診リーフレットに競輪補助事業であることを掲載し、配布している。



3. 当財団のホームページにコラム欄があり検診車の紹介を行っている。そのコラム欄の7月の記事に検診車の詳細な記事を掲載予定であり、競輪補助事業であることを載せ、広く一般に周知を行う。※コラム掲載後、資料を送付します。

4. 毎年市民を対象とした健康講座を実施しており、今年度は3月に予定している。その場でスライド等を使用し、検診車及び競輪補助事業で整備した車両であることを紹介を行う。※実施後、資料を送付します。以下の写真は、2024年度に実施した健康講座の様子です。毎年、約150名の方にご参加いただいております。



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人新潟県保健衛生センター
(コウエキザイダンホウジンニイガタケンホケンエイセイセンター)

住 所 : 〒951-8680
新潟県新潟市中央区白山浦2丁目180番地5

代 表 者 : 理事長 横山 晶 (ヨコヤマ アキラ)

担 当 部 署 : 総務課 (ソウムカ)

担 当 者 名 : 課長補佐 明間 文子 (アケマ アヤコ)

電 話 番 号 : 025-267-8191

F A X : 025-232-0891

E - m a i l : soumu@nhsc.or.jp

U R L : <https://www.nhsc.or.jp>